

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 多次元超高分解能地球観測インテリジェンスの創発
2. 研究代表者： 横矢 直人（東京大学 大学院新領域創成科学研究科 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、衛星画像などの異種時空間データから、従来の常識を覆す時空間分解能と識別能力で、地表面の状態と変化を認識する知能システムを創発するものである。フェーズ1では、当初目標を超えて世界に先駆けて地域格差を解消する全球モデルを構築した点が高く評価できる。特に災害時に役立つことが期待できる。フェーズ2では、フェーズ1で得た課題を詳細に検討し、具体的で非常に挑戦的な計画を立てていることに期待する。CVPR2024のコンペ企画等、本成果が世界的に注目されている点が高く評価できる。

以上